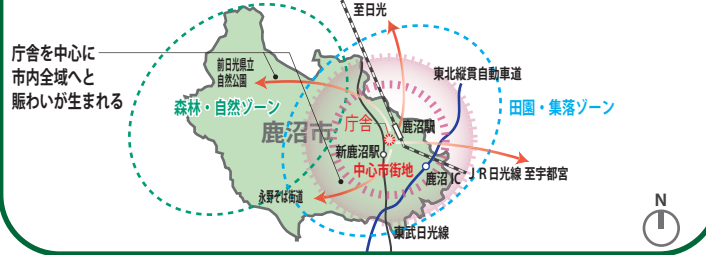


仮庁舎不要・工期30ヵ月+庁舎は「鹿沼の展示場」 鹿沼の木工・木製品やイベントを身近に感じる庁舎とします。

基本方針

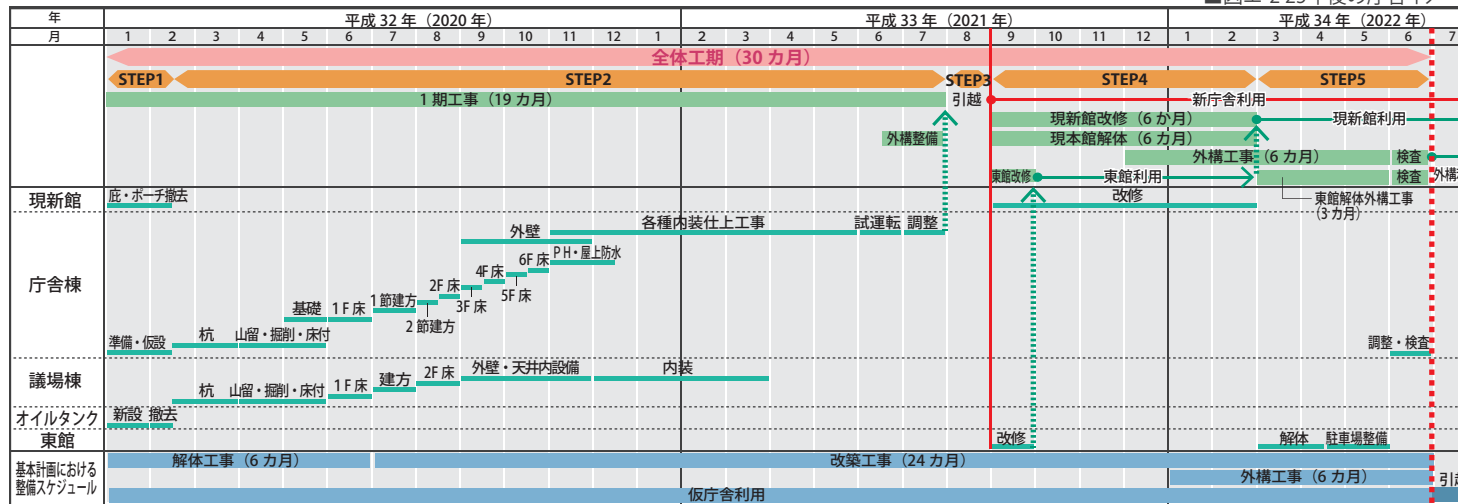
- 1. 仮庁舎なし工期30ヵ月を実現する建替計画**
西高台を利用した施設配置と、複数工事を並行して行う施工計画で、仮庁舎なしでも工期短縮を実現します。
- 2. 明快な完全区画で「居ながら工事」に配慮**
市民動線と工事車両を安全に分離します。騒音を抑えた工法と高遮音の仮設計画で環境に配慮します
- 3. 歴史・伝統を継承し発信する「鹿沼の展示場」**
「鹿沼テラス」には既存レリーフを移設し、ロビーには彫刻屋台を展示します。外構には市花のさつきを配植し、鹿沼らしい庁舎とします。
- 4. 将来の人口減にも対応可能な新庁舎計画**
現新館の改修利用案と一体改築案を基本設計で検証し、変化に対応できる庁舎とします。
- 5. 神社・公園・まちの駅との連携が誘う賑わい**
駐車場はイベントや秋祭りで活用可能です。周辺を回遊動線で結び、街づくりの拠点をつくります。



■図工-1 鹿沼の活性化の中心となる庁舎のイメージ



■図工-2 25年後の庁舎イメージ



■図工-4 人口減による適正な庁舎規模

鹿沼の将来を見据えた現新館整備検討

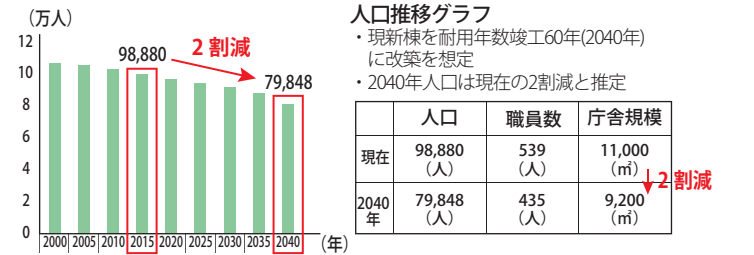
- 人口縮小など時代の変化に対応可能な新庁舎計画 -

25年後、人口は2割減となり、必要面積は約9,200㎡と推定されます。変化に対応する庁舎整備を検討・提案します。

- ① 当初：改修利用 + 将来：小さく改築**
改修利用：現新館改修を含め約11,000㎡で整備します。
将来減築：今回新築部で庁舎機能を賄えます。交流棟を3階建約1,000㎡の市民協働スペース「公民館」として整備します。将来の建設費、維持費を抑えます。
- ② 当初：一体改築 + 将来：公民館にリノベーション**
一体改築：共用部重複や新旧接続部での面積ロスがなく、効率が高まり、約10,000㎡での整備が可能です。
将来改修：「公民館」へ部分改修可能な計画とします。

変わる庁舎像、初期・将来費用等、多面的な比較検討

仮庁舎不要・将来減築可能な①を提案しますが、必要面積・市民要望の変化、仮庁舎、解体・改修・新築費、維持費等を基本設計にて多面的に比較検討します。



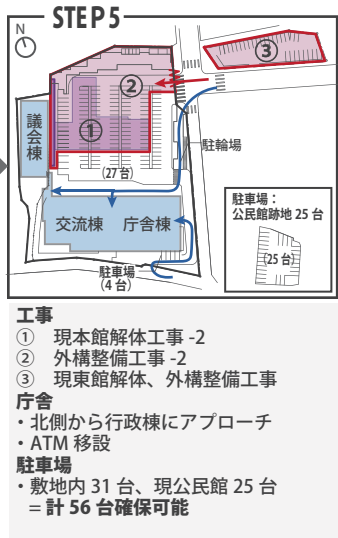
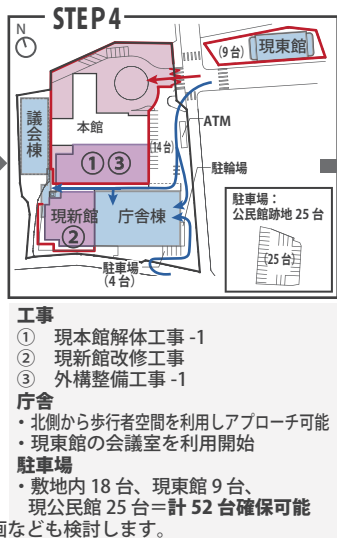
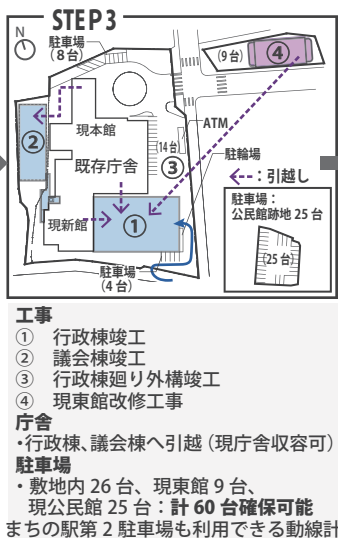
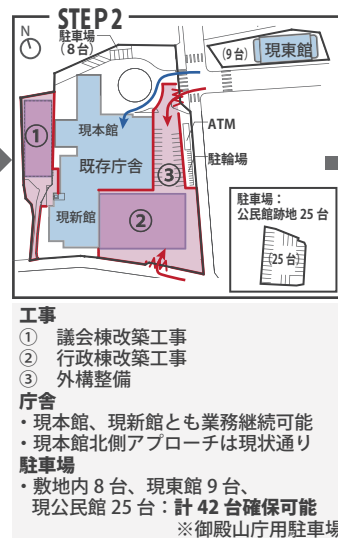
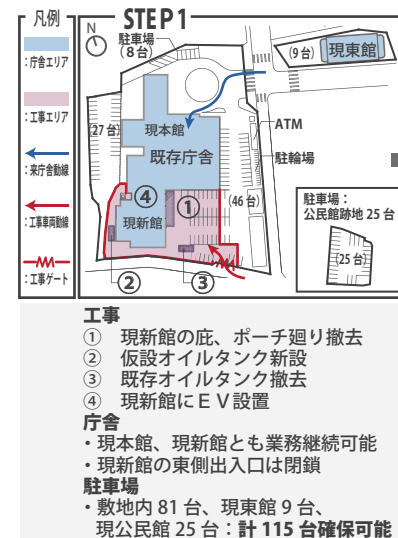
■図工-4 人口減による適正な庁舎規模

仮庁舎不要で工期30ヵ月

仮庁舎不要：南側に行政棟、西高台の駐車場に議会棟を建設します。新築部だけで現庁舎分の移転が可能です。現東館は改修し、工事中の会議室として利用します。

工期30ヵ月：仮庁舎なしの場合、通常、工期が延びますが、各種工事を並行して行う建替計画とすることで、基本計画に示された工期30ヵ月で全て完了します。

発注支援：市内業者の参加実現に向け、総合評価落札方式を提案します。その方式を活用する発注業務支援の実績があります。



■図工-5 仮庁舎不要な建替計画

安全・安心に業務継続

安全確保：明快に工事エリアを区分し、安全鋼板で堅固に区画します。工事動線と市民利用動線の動線交錯を回避します。

騒音抑制：防音パネルで工事中の建物を包みます。鉄骨造+PC床+乾式壁を主とし、騒音源となるコンクリート打設、型枠解体を削減します。

駐車場：最少台数となる期間も敷地内8台、東館9台、公民館跡地25台、計42台を確保します。公民館跡地は2段式にすると約50台を確保可能です。この場合、竣工後総計200台となります。

ATM：工事中も現在位置のまま利用可能とします。

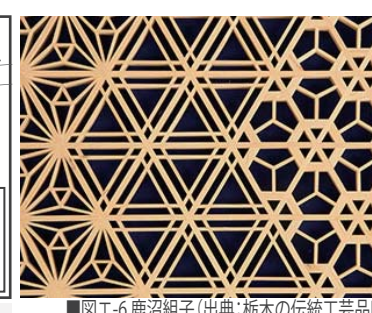
庁舎は鹿沼の展示場- 鹿沼の魅力を全国に発信 -

木工・木製品：鹿沼産の組子、木扉、家具、集成材、合板、LED照明を積極的に採用します。ネーミングライツの設定や内装木材への有償署名公募など、コストダウンとの両立を図る提案をします。

深岩石：鹿沼テラスの内装材に採用します。また、擁壁保護仕上に採用し、大谷石より高い耐久性をPRします。

既存レリーフ：既存庁舎ロビーの大型レリーフを鹿沼テラスに移設し、鹿沼の文化を継承、PRします。[図工-1]

市花のさつき：積極的に植栽し、鹿沼の園芸をPRします。



協働と賑わいが生まれる庁舎

- 鹿沼の文化・工芸を活かした新しい街づくりの拠点 -

庁舎・神社・公園・まちの駅との相乗連携

庁舎は公民館：市民利用スペースは、閉庁時でも単独利用が可能な動線計画・諸室配置とします。コミュニティ施設のないこの地区の新しい「公民館」となります。

駐車場はイベント広場：農産物直販市やイベント会場としても活用可能な市民交流の場とします。

秋祭りをサポート：駐車場は観光バス駐車場に利用出来る広さと形状です。市民利用スペースは氏子さんの休憩場所としても利用可能です。新庁舎神社側の壁に彫刻屋台の実況映像を映したり、プロジェクションマッピングしたりと、屋台を待つ間も盛り上げます。

歴史的街区を回遊する：まちの駅から表参道と神社、庁舎、御殿山公園を結ぶ回遊動線を整備します。[図工-4]

